

クラス通信

麻生校 円山校 札幌駅前校

3月号 2023年3月14日発行

クラスユニック

高校部・中高一貫生

保護者と生徒の皆様へ —— 本人と一緒にご覧下さい。 理事長・校長 福島 新四郎

3月に入ってようやく春めいて、道路の雪や氷が溶け始め、日差しも強くなって参りました。

さて、今月は特に年度末の春休みも始まりますので、学校休み期間に将来一番身近な目標となる「大学受験」についてじっくりと考えをめぐらせておくことをお勧めし致します。

大学に合格するためには、大学受験がいかなるものなのか、まずその内容を知る必要があります。いわゆる進学校の高校生とそうでない学校の高校生との大きな差は、実は大学受験そのものを知っているか否かにあります。つまり、生徒の日常に大学受験の情報が行き渡っているか否かなのです。

大学受験を成功させるためには、大きく二つの要素が不可欠です。

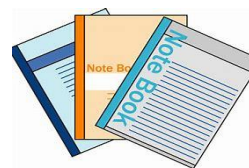
一つは、「大学受験選抜の仕組みを熟知していること」であり、もう一つは「各大学が要求する水準の教科内容に習熟していること」です。これらは頻繁に変化していますが、まさしくその変化に対応できるのが「大学受験予備校」なのです。日常は部活や学校行事等、諸事忙しい生活です。予備校を上手に活用して、到達点に向かって的を絞った学習を日々進めていくことが重要です。

2023年1月実施「大学入学共通テスト」について国語・英語・数学の各教科担当のクラス専任教師が出題傾向、難易度、内容他多方面から分析し総括、講評しましたのでご覧ください。

共通テスト—国語 担当：国語科 佐谷

○今年度難しくなった点

昨年より4点程度平均点が下がったが、既卒生ではほぼ変化がなく、主として平均点を下げたのは現役生であった。本校での自己採点の結果からみるかぎり、現代文については誤差程度の違いしかない。古文についてはむしろ易化している。全体を通して二つの文を出して比較すること、まとめのメモ、ノートを作ってみせて対応させるといった新傾向はそのまま続いている。漢文は、出題が問題と模擬解答の形になっていて、これは減多に見ないので、うろたえずに問の文と模擬解答を対応できたかどうか、注をチェックできたかどうかで差が出た。



○今後の「国語」学習に意識することは？

1. 二文出題では、解答する前に両方の全文を読み、注をチェックできる時間をつくり出すために、普段から精読と速読を交互に行い、読解速度をあげよう。

<裏面に続く>

2. 古文の速読・速解ができるように、ゆっくり音読・速く黙読を交互に練習しよう。
3. 漢文では、読み仮名、送り仮名、訓読に頼り意味を類推するのではなく、句法を正しく身につけておこう。
4. メモ、ノート、二文の対応の出題に慣れるために、過去問、問題集を解こう。

共通テスト—英語

担当：英語科 許士

【リーディング】

本文の単語数は昨年並みの4500語程度で、平均点は昨年58.8点から61.8点となった。読み切れない生徒も多くいたものと思われるが、難易度としては易～標準レベルという印象である。様々な文章・図から①概要や要点を把握する力、②必要とする情報を読み取る力を測る出題は共通テスト英語の目的の通りであり、複数資料の読み取りで時間を取られる問題が複数あった。しかし、速読だけでなく、やはり答えとなる一文の正確な読み取りがなければ正答にはたどり着けない点も意識する必要がある。また、設問が1つ増えたとは言え、問題構成のみならず設問・点数配分の構成も昨年度同様大問によって大きく点数差が出ない形になっているため、どの形式もまんべんなく練習する必要があるだろう。

【リスニング】

平均点は昨年の56.1点から今年度は61.4点と、難易度は昨年並みか易化。大問5,6に悩まされる生徒も多いが、一昨年度～昨年度の傾向のまま、今年も更に易化・標準化したように思える。リーディング同様選択肢はパラフレーズされたものが多く、聞こえた単語の入っている選択肢を選ぶと間違いになることも多い。これは、単語の意味を捉え瞬時に「和訳する」能力だけではなく、「相手の言いたいことを捉える」能力を求めていることが明らかである。

【今後の学習対策】

- 一文を構文を把握して正確に読む
- 文章の要旨を捉えながら読む・聴く
- 設問から必要とされる情報を判断してから読む・聴く



共通テスト—数学

担当：数学科 新保

数学ⅠA・ⅡBともに平均点が大幅に上昇。特にⅡBは平均点が61.48点と、2001年以来22年ぶりに6割を超えた(但し2021年も59.93点と、ほぼ6割であった)。

【数学ⅠA】

第1問[2]の後半は、立体図形からの出題であった。立体図形の出題は珍しく、ここで点を落とした受験生は多かったと思われる。

第2問[2]は、バスケットボールの軌道を放物線として考える問題で、共通テストらしい問題といえる。問題文は長いが、難易度はそれほど高くはないので、落ち着いて解くことが重要であった。

第3問は、すべての問題が「場合の数」からの出題で、「確率」からの出題がなかった。ただし、センター試験時代にも、2015年に「場合の数」のみから出題されたことがある。

【数学ⅡB】

第2問[2]は、ソメイヨシノの開花日を、積分法を用いて考える問題であった。問題文は長い、誘導に乗ればそれほど難しくはない。

第4問は、いわゆる複利計算の問題で、2次試験でも時折見かけられる。初見では厳しいかもしれないが、模試や問題集で一度は経験した受験生も多かったと思われる。

なお、追試の第1問では、数学ⅡBではほとんど出題されていない「複素数と方程式」からの出題があった。来年の本試験に向けては、「複素数と方程式」の対策もしっかりしておかなければならない。

【今後の共通テストに向けて】

基本事項の徹底は当然で、見たことのある問題は当たり前のように解けるようにならなければならない。そのうえで初見の問題にどんどん立ち向かっていく必要がある。大学入試数学では、「経験」は必要不可欠である。「経験」を多く積むには、長い時間を要する。だから、数学は日常学習が大切なのである。

皆さんの進級と共に円山校・麻生校担当者の変更があります

※札幌駅前校の新年度変更はありません。

新年度円山校担当者…森 ひとみ・西野 丞(にしの すすむ)

4月より円山校高校部の担当となりました森ひとみと申します。出身は足寄町（松山千春のふるさとです。生徒の皆さんはもう知らないかもしれませんが・・・）で、趣味はテニスと最近ゴルフを始めました。

これまでは麻生本校本科に携わっていました。私自身、クラブユニックの本科で浪人生活を送り大学へと進学しています。その経験も活かしながら皆さんの目標達成、夢実現へ向けて西野先生とともに全力を尽くしたいと思います。

今後は私か西野先生が円山校におりますので、お気軽にお声がけください。保護者の皆様におかれましても面談などでお話しさせていただくことになると思いますので、よろしく願いいたします。（森）

新年度より円山校の現役部を担当致します西野丞（すすむ）と申します。初対面の方には下の名前を正しく読んでいただいた経験がありませんので、是非とも覚えていただければありがたいと思います。

札幌市内を中心とした、いくつかの学習塾・予備校での指導を経て、クラブでの担当を拝命いたしました。これまでの経験を活かし、中学・高校の入試や各教科の勉強法などいろいろなアドバイスをできると思います。年齢はかなり行っておりますが、（丙午の学年です）是非お気軽にお声がけください。よろしく願いいたします。（西野）

<裏面に続く>

三月一杯で退職する担当者・・・井尾 敦

今まで面談でお越しいただきました保護者様・勉強しに来てくれている生徒の皆様、今月末で退職することになりました。つきましては後任の森教務をはじめとするクラスユニック教職員が全力で皆様をバックアップする体制となります。私は、「教育」という幅広い中の「受験」というキーワードの中、クラスユニックで17年ほど挑戦し続けてまいりました。その中で保護者様からの叱咤激励も多数いただき、今の私があります。本当にありがとうございます。生徒の皆さんには常に「自分で選択した人生の選択枝は必ず正しい」とお伝えしております。生徒の皆さんが自分で未来を切り拓き、将来像の実現を達成することを心より願っております。世間は狭いのでどこかでお会いすることがありましたらお声掛けください。

以上円山校

新年度麻生校担当責任者・・・土居 将士(どい まさし)

新年度より麻生高校部を担当する土居と申します。

クラスユニックにて20年近く大学受験に携わって来ました。多くの受験生を見てきた中で、成功した生徒に共通して言えることは、絶対に第一志望の大学に行きたいと思っていたことです。その思いが強い方が成績も伸びますし、最後まで頑張り抜けます。大学受験は人生を決める大きな分岐点となります。第一志望合格に向けて取り組んでいきますので一緒に頑張りましょう。まだ志望校が決まっていない生徒は一緒に探していきましょう。

三月一杯で退職する担当者・・・木下 直樹

いよいよ大学受験が1年後、2年後の学年となりました。試験範囲、教科とも今までの入試に比べると膨大です。問題の難易度も上がります。是非早くから受験を意識した勉強をしてほしいと思います。

私は3月一杯でクラスユニックを離れることとなりますが、皆さんの明るい将来をお祈りしています。

以上 麻生校

<3月~4月の予定>は下の「QRコード」からHP上でご覧下さい。緊急時連絡はラインでお知らせ致します。



麻生本校 ☎011-716-7162

円山校 ☎011-613-7755

札幌駅前校 ☎011-299-6030

麻生本校 高校部



札幌駅前校 高校部



円山校 高校部



円山校 中学部

